
いつの間にか

なこちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつの間にか

【Nコード】

N6409F

【作者名】

なこちゃん

【あらすじ】

いつの間にかある男子を好きになっていたでもある日には一番の

...

「原ちゃんおはよう。何でうちのクラスはカップルがいっぱいいるんだろうね!？」
（実はうらやましいかも…）

いつものように学校へ行った。

D-3の教室に私と原ちゃんが入ったすると窓の近くで男子どうしで遊んでいた。すると男子の山本くんが私の方を見た。目があった…一瞬ドキツとなった。それがまだマジ恋だとは気がつかなかった…

授業が始まりやつと3時間目になった。その時間はなんと体育、内容はバスケット一回目だからチームを作る。1チーム4人いっせいにチームを作る。私たちがなったチームが親友の原ちゃん、男子の山本くん、伊藤

「やったね。同じチームだね。原ちゃん!」

みんなでパスをしていたら山本くんが私にアドバイスをしてきた。またドキツとなった。そのあと

「ありがとう」 と山本くんに言った…

私はドキツとなったことを原ちゃんとなみちゃんに言った。すると原ちゃんとなみちゃんは、

「それってマジ恋だよ!」 と言われた。私はビックリした。そのあとから私の頭から、山本くんがはなれなかった少し考えた、多分私は山本くんに恋をしたんだと思う（どうしよう）

その事を原ちゃんとなみちゃんに言った。やっぱり反応は

「ええー」とゆう反応 （私だってビックリだよ）でも本当に私は頭から山本くんがはなれなかった。

給食の時間山本くんがわたしに声をかけてきた…

そのあとにトイレにいったらかおがあかった…その日はなんか変な日だった気がした…

次の日学校のD-3へ行ったら皆が騒がしかった。そこで原ちゃん

んに話してみたすると

「知らないの、今日転校生がうちのクラスに来るんだって」
「マジで」

と私は今知った。噂では2人来るらしい。それに男

(キーコンカーコン…)

かねがなった。皆が急いで席に座る。先生が転校生のことを話した…転校生が私たちの教室に入ってきた…

「大阪からきた峯田…です。よろしくお願いします。」と転校生が来たすると誰かに 睨まれてるような気がした。だから私は山本クンの方を見た。すると山本クンと目があつた… (恥ずかしかった) 授業が終わって休憩、すると山本クンがこつちに近づいて私に話しかけて来た。話の内容はさっきの目があつたことだった…私はしゃべれなかった…

(キーコンカーコン…)

かねがなった皆が急いで席に座る。時間が過ぎやつと休み時間！嬉しかった

私は廊下で原ちゃんと歩いた。すると後ろから山本クンがいたことに私は気が付かなくて私の体と山本クンの体がぶつかった私は一瞬固まった…

やっぱり私は山本クンのことが好きになったかもしれない…家に帰っても頭から山本クンのことがはなれなかった…

次の日教室に入ったら友達の中が来た、なんかいきなり好きな人ができたらしいそれが昨日来たあの転校生だった…

他の女の子に転校生のことを聞いたらうちのクラスではモテるらしい…

(絶対にありえない。だって何にも分かんないのにモテるなんて…)それから峯田に話さなきゃいけなくなった。話終わったら席に座るとまた誰かに見られてる…だから私は振り向いたら山本クンと目があつた… (どうしよう…)

学校の帰りに原ちゃんに相談で誰かに見られてることを原ちゃんに

話したら多分見てくる人は山本クンと言った…（私はマジでビックリした。）

「マジで山本クンが私のことを見てるの…」私は一瞬噓だと思ったけど信じられなかったそこで原ちゃんが本人の山本耕史クンに聞くらしい

結果 原ちゃんの思った通り！理由は私と峯田がぎらず山本耕史クン以外の男子と喋っている所を見るとシットをしているらしい…

私はなんだか学校が毎日楽しくなっていた！！

そして11月 もう冬に近付いてきた…

私はなんだか中学までには山本耕史クンと付き合いたいと思っていた…

そこで私はラブレターを書いた 私の思っていること全部…

手渡しで… 11月20日山本耕史クンに渡す…

それから毎日がドキドキしていた…

11月29日 山本耕史クンから手紙の返事がきた！

な な なんとo.kのマークがあった♪ めっちゃ嬉しい！！

私の心は一気に嬉しくなった！

12月1日山本耕史クンから放課後に来てくれと連絡があつた…

16時

「俺は お前が好きになった！」

「えっ」

「俺と 付き合ってくれ」

そう、その告白はいきなりだったが私はすぐにo.kを出した…

私たちはいつの間にかクラスでの一番のかわいいカップルになっていた！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6409f/>

いつの間にか

2010年12月28日04時01分発行